

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームやわらぎ川内

(ユニット名)

B棟 トロロの森

記入者(管理者)

氏名

高場 淳也

評価完了日

平成 19 年 7 月 7 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			事業所独自の理念をつくり、実践に取り組むよう努めている。		
			(外部評価)		
			利用者が地域の中で自分らしく「毎日イキイキ・ワクワク」と過ごせるように理念が作られている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			理念を共有し、少しずつ実践に向けて取り組んでいる。		理念の意図をもっと深く理解していく。
			(外部評価)		
			毎月のスタッフ会や申し送り時、理念について職員で話し合っておられる。職員は、日々利用者が楽しく暮らせるよう取り組まれている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			理念をホーム入口に掲示し、家族や地域の方々に理解してもらおうよう努めているが、完全に浸透はしていない。		来所時に声をかけ、説明をしていく。

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 以前から近所の方には挨拶をしていた。また、犬を飼い始めた事により更に話をする機会が増えてきた。		こちらから積極的に声をかけていく様にする。 年に1回夏祭りを行い、地域の方にも参加して頂いている。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地方祭などの行事に参加させて頂いているが、他の機会ではあまり交流が図れていない。  (外部評価) 地域の井出掃除には、職員が参加されている。利用者個々がこれまで住まれていた地域の敬老会等に参加できるよう支援されている。事業所で飼われている犬を通じて、地域の方達とお話をしたり子供達が遊びに来ることもある。		積極的に行事等に参加し交流していく。  さらに、事業所では、地域の行事への参加や地域の方達に事業所主催の行事に参加していただき、交流を深めていきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 現状は取り組めていない。		スタッフとの話し合いを重ね、地域の暮らしに役立てるようにしていく。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 改善すべき点は実地に向け努力しているが出来ていないところもある。  (外部評価) 職員個々が自己評価に取り組み、管理者がまとめられた。前回の評価結果を受けてトイレに手洗い場を取り付けられ、タオルの交換もこまめに行われている。		もっと評価を活かし、話し合い等を行い改善に努めていく。

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			会議の内容が職員全員に伝わりきれておらず、サービス向上にはまだ活かされていない。		会議の内容を確実に全員に伝えサービス向上に活かしていく。
			(外部評価)		
			居室でとじこもりがちな方に対し、ご家族から月に1回、ユニット全員参加で外出するような機会を作ってはどうか、という意見をいただき、取組みを始められた。		今後もさらに、出席者の意見を伺いながら運営に反映していけるよう、取組みたいと考えておられた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			市の方が時々ホームに来る事はあるが、あまり行き来は出来ていない。		市町村との関係を密にし、今以上の質の向上に努めていく。
			(外部評価)		
			地域包括支援センターを通じて、市内の介護事業所の介護支援専門員が集まり、活動状況の報告や研修を行っておられる。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			学ぶ機会はあるが職員全員は参加出来ておらず、分からない職員もいる。		積極的に会の参加を促し活用していく。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			会に参加し職員全員が虐待防止に努めている。		学ぶ機会を増やしていきたい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に十分な説明を行い理解、納得をして頂いている。		リーダーが契約を行っているだけなので、今後は職員も対応出来るようにしていきたい。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の不満や意見を聞いた時、時間がかかることもあるが反映させている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 暮らしぶりや健康状態を訪問時や手紙等で定期的に報告している。		担当者やスタッフの名前などを知ってもらい今以上の関係作りをしていきたい。
			(外部評価) 「やわらぎたより」を毎月発行し、利用者の様子や事業所の取組み等をご家族に報告されている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族等の意見、不満等しっかりと聞くように努めている。中には言われない家族の方もおられ、信頼関係が築けていない人もいる。		何でも気軽に話が出来るよう関係作りをしっかりとしていく。
			(外部評価) ご家族が持参してくださった花の苗や折り紙を活用しながら、ご家族からの提案やアイデア等を活かし、支援されている。		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 意見を聞くように努めているが、全員の意見はなかなか聞けていない。出された意見は少しずつ反映されている。		全員の意見を聞くように努めていく。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 出来る限り対応しているが、人員に余裕がなく出来ない時もある。		人員を確保し柔軟に対応していく。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動や離職は少ないが、一度異動を行った際に利用者や家族から不満の声があがった。配慮が足りなかったと感じている。		異動を必要最小限に抑え、配慮をしていく。
			(外部評価) ほとんどの職員は、開設時から変わらず、利用者や馴染みの関係が作られている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 事業所内では半年に一度勉強会を開いている。法人外でも研修会の案内を回覧板で確認し、個々で行くようにしている。		法人外の研修は、一部の職員しか行けていない為、声かけをしていく。
			(外部評価) 外部研修受講後、研修内容を回覧板で全職員に周知されている。感染症の勉強会等を行い、職員の知識を深めておられる。		さらに、事業所のさらなる質向上を目指し、全ての職員がスキルアップできるような計画的な取組みが期待される。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 半年に1度、勉強会を行っている。地域の同業者とは管理者以外はあまり交流がない。		管理者以外の職員にも交流の機会を設けるように努める。
			(外部評価) 他事業所が開催するイベントにも参加され、交流を図っておられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員全員が運営者と面接を行い、話し合いをしている。		まだ面接が1度しか出来ていないので半年に1回くらいのペースで行いたい。 少しでも休憩時間を取れるようにしていきたい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) ホームに訪問時、職員に話しをしたり、1年間の目標を全員でたて少しずつ向上心を持って働けるように努めている。		ホーム訪問を多くし現場を今以上に知って頂き、アドバイスをしてもらう。
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 職員全員が意識して、不安なことや訴えをよく聞き受けとめるよう努めている。		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)  電話や訪問時、話をし何かあればよく聴くように努めている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)  利用者に必要な支援と家族の求める支援に差があり見極めが難しい時があるが、出来る限り努めている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価)  今までのリズムを出来る限り崩さないように、家族の人に聞いたり、入所前に本人さんに面会に行き話をしている。		
			(外部評価)  入居時、職員は、利用者に対して自己紹介をされ、自然にかかわることができるよう取り組まれている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価)  人生の先輩として学ぶ事も沢山ある。一方的な介護でなく共感できるように努めている。		
			(外部評価)  職員は、利用者と一緒にゆっくりお話をする時間を持ち、昔されたご苦労話等に耳を傾けておられる。又、野菜やお花の育て方や料理等を教わっておられる。		

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)  表面上の支援になっている時がある。		家族と共に向き合い相互作用できるような関係作りをしていきたい。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価)  本人、家族の両方から話を聞き、関係作りに気を付けている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価)  面会に来て頂いたり電話をかけたり、その場所へ外出したりと支援出来るように努めている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価)  気が合う、話が合う方同士で食事をされたり、外出したりと孤立しないように努めている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価)  終了した方にも必要とする方には大切にしている。		

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			一人ひとりの希望や思いを理解するように努めているが、実現出来ていない方もいる。		利用者とのコミュニケーションを大切にし、利用者の本心を話して頂けるような関係作りに努める。
			(外部評価)		
			暮らし方の希望を出される利用者の方も多くおられる。職員は、利用者との日々のかかわりの中からご本人の意向や思いを把握するよう努めておられる。ご家族等にも聴き取りをされ、アセスメント表を6ヵ月に1回見直しされている。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			家族やケアマネージャー、本人と話をし聞き出している。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			バイタルチェックを行い、表情、体の変化等を日々観察している。行動等を介護記録に残し把握に努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			スタッフ会で話し合い、介護計画を作成している。面会時に家族の意見を聞き入れ、本人とは普段の会話から聞き出している。		
			(外部評価)		
			担当職員が中心となって職員全員で介護計画について検討されている。外出や歩行練習等、ご家族の意見を計画に採り入れておられる。		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			本人、家族等の意見を聞き、スタッフ同士で話し合いをし介護計画の見直し、変化があった際にはプランを変更して対応している。		
			(外部評価)		
			職員は、毎月のカンファレンス時に介護計画について話し合い、定期的な見直しと利用者の状態に応じて随時の見直しが行われている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			一人ひとりの日々の介護記録を通して情報を共有し、実践や介護計画に活かしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			状況に応じて柔軟な支援を行うように努めている。		
			(外部評価)		
			理容院・美容院を利用する際に、職員が同行されることもある。		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 警察、消防と話をしている。 地域ボランティアの方に頂いた。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 地域の事業者会に月1回参加をし話をしている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 月に1度訪問し、利用者やスタッフと話をしているが協働は出来ていない。		包括支援センターとの関係を密にしていく。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) かかりつけ医は本人、家族等の希望を大切に、適切な医療を受けられるよう支援している。  (外部評価) ほとんどの利用者の方は、ご本人ご家族の希望で協力医療機関を受診されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症に詳しい医師とは関わりが持っていないが、かかりつけ医と日頃から利用者の治療などについて相談している。		

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)  地域の看護師との支援は行っていないが、かかりつけ医と連絡を取り支援している。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	早期退院出来るよう、情報交換をし連絡し合っている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価)  本人、家族、かかりつけ医と話し合いをし、スタッフ全員で方針を共有するように努めている。  (外部評価)  利用契約時に看取りや重度化について説明を行っている。ご家族の希望等も聞き取り、話し合いを行っておられる。		さらに、利用者の看取りや重度化等、今後のことや事業所の方針について、職員が集まり話し合うような機会作りが期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)  見極めがまだ不十分で、今後に備えての検討や準備が出来ていない。		出来ること、出来ないことを見極め、終末期になる前からスタッフ全員、家族、かかりつけ医と話し合いをしていく。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価)  他の場所に移る時、話し合いや情報交換を行っている。		

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			言葉がけや対応に十分気を遣っているが不適切な時もある。		スタッフ全員が意識していく。
			(外部評価)		
			職員は、利用者に対して穏やかに声かけをされており、耳元でやさしくお話をされていた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			一人ひとりの希望に沿った支援をしていけるように努めている。		今以上に自己決定の出来るような場面を作っていきたい。
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			出来る限り利用者のペースに合わせるよう心がけている。		
			(外部評価)		
			調査訪問時、利用者が庭の草取りをされており、「これは、私の仕事よ。」と話しておられた。		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 本人が以前から通っていた理容、美容室に行くように努めている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の好みを把握し、準備、片付けを一緒に行っている。  (外部評価) 調査訪問時、利用者と職員とで協力して下膳をされていた。テーブル拭きをされている方もうかがえた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 利用者と一緒に買い物へ行ったりして、望むものが買えたり食べれたり出来るように努めている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) おむつの使用を減らすことは出来ていないが、習慣を把握し失敗しないように支援している。		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			声かけにて入浴して頂いている。拒否のある場合は話をさせて頂いている。		
			(外部評価)		
			利用者の希望を聞きながら支援されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			使い慣れた机や布団で一人ひとりの時間で休んで頂くように努めている。		一人ひとりのペースを大切にしていく。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			気晴らしに外出したり音楽に合わせて唄うなど、気晴らしが出来よう支援に努めている。		
			(外部評価)		
			写経をされる方や亡くなられた妹さんの句集を読まれている方もおられた。法人の系列事業所の喫茶室に出かけることもある。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			ご自分で管理して頂いている方もおり、他の方はスタッフが責任を持って管理に努めている。		

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			希望があれば外出したり職員の方から声かけをし外出している。		あまり外出をされない方には、楽しみを見つける支援をしていきたい。
			(外部評価)		
			個別での外出や田んぼの中にあるお堂へ行き、一休みしながらおしゃべりを楽しむこともある。		さらに、毎月外出するような計画を立てておられた。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			個別での外出はなかなか出来ていない。家族の方と一緒に外出される方はおられる。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			家族の方の拒否がない限り、本人の希望により電話をしている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			気軽に訪問できるよう、昼間は網戸にし、本人の居室等でゆっくりと過ごして頂いている。		

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  スタッフ全員、身体拘束のないケアに取り組んでいる。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  昼間、風の少ない日は網戸にしており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。  (外部評価)  玄関の鍵をかけず、自由に出入りできるようにされている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)  利用者の所在は常に把握している。 安全に配慮している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  注意に必要な物品は置き場を決めて管理し、危険を防ぐように努めている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  利用者の居場所や動きを把握し、一人ひとりに対応に努めている。		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)  定期的な訓練は行えていない。		定期的に講習を行い、職員全員が対応出来るようにしていく。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価)  地域の人への働きかけは行っていない。年に1回、避難訓練は行っている。		地域の方々に協力して頂けるように働きかけていく。
			(外部評価)  火災時の避難訓練が行われている。各居室には煙感知器が設置されていた。		さらに、今後、地域の方達との相互協力の体制等ができるような取り組みが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価)  家族と話はしているが、リスクについては話し合いは出来ていない。		リスクに対する話し合いをし、家族に説明をしていく。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価)  体調の変化、異変については常に観察しており情報を共有している。何かあれば医療機関、家族に連絡をしている。		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者ひとりひとりの薬について把握するよう努め、変化にも気を付けている。</p>		
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食事面では食物繊維を取り入れたり、水分補給に気を付けている。歩いて頂いたりもしている。</p>		
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食後に声かけをし、うがい、口腔ケアをして頂き清潔に保っている。</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人ひとりに合った食事の量や水分を摂取して頂くよう支援している。</p>		水分摂取に気をつけていく。
			<p>(外部評価)</p> <p>野菜を多く摂れるような献立作りをされている。</p>		
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日頃から手洗いや熱消毒を行っている。感染症予防マニュアルを作成している。</p>		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価) 新鮮で安全な食品を使い、調理用具は熱消毒や消毒液等を使い衛生管理に気を付けている。</p>		
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 玄関まわりは清潔にし、花を植えたりして明るくし、親しみやすいようにしている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) フロアに観葉植物を置いたり、季節のものを利用者と折り紙で作り、飾っている。</p> <p>(外部評価) 玄関は、網戸で自然の風が入るようにされていた。食卓に花を飾っておられた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 畳の間やソファで思い思いに過ごされている。</p>		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			以前から使用していた物を持ち込まれ、置き場所も本人の希望を出来るだけ聞くようにしている。		
			(外部評価)		
			以前使用されていたものを持ち込んでおられる方もうかがえた。		さらに、今後も利用者の状態やご本人ご家族とも相談しながら、利用者がその人らしいお部屋で心地よく過ごすことができるよう、工夫を重ねていかれることが期待される。
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			窓を開けたりエアコンを使ったりと、換気、温度調節等は状況に応じ配慮している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			手すりを付けているが、ない所もありスタッフが気を付けている。		手すりが必要な場所を考えていきたい。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			トイレや居室などにプレートを付け自立支援に努めている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			庭やベランダに花を植えたり、畑では季節ごとに野菜を作るなどして楽しまれている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	だいたいの方の思いや願いを把握している。 今後も全員の思いを理解していくよう努める。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	利用者と職員と一緒に話し、お茶を飲んだりする時間を作っている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	何か作業をしたい方には仕事をして頂いている。 起床時間も一人ひとりに合わせている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	何もされていない方も、話を聞いていると表情が出てこられる。楽しみをみつけられ生き生きされている方もいる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりの希望には沿えないが、外出は出来るだけ行けるように努める。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	持病を気にされている方もおられるが、医師との連絡や往診時に話をするよう努めている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その時々で対応を変え、楽しく安心して暮らして頂くよう声かけや話をしている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	要望を聞くように努めている。中には見て頂いているという気持ちから、求めていることをあまり言われぬ人もおられる。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ たまに 4 ほとんどない	あまり地域の方が訪ねてこられることは少ない。 犬を飼い始め、少しずつ話をしたりして頂いている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	夏祭りに来て頂いたり、利用者さんと草引きをして頂けるようになった。少しずつホームに来て頂く回数が増えている。
98 職員は、生き生きと働いている	(自己評価) ② 1 ほぼ全ての職員が ② 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員不足等でストレスや不満を言う方もいるが、全体を通して生き生きと働いていると感じる。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ③ 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自己実現等、目標を達成されていない方が多数おられ不満に感じている時がある。
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ③ 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが ③ 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	「ここはいいところ」と言って頂く家族の方もおられるが、家族の方によって、もっとこうして欲しいと思われる方もおられ、今後話をしていきたい。

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・ 毎年、夏祭りを行っている。
- ・ 地域になじむホームを考え、今以上に地域の方との交流をはかり気軽に行き来出来るようにしていきたい。
- ・ イキイキ、ワクワクとした生活が出来るように支援している。
- ・ 職員、利用者共に助け合い、もう一つの家として生活するように努めている。